軽くろいし 可最大大人。 vol.32





表紙の絵は、黒石市ゆかりの画家・伊藤寛さんが描いた鉛筆画「昔の黒石 こみせ」

表紙の写真を募集しています

- ●応募資格…市内に在住、勤務、在学している人
- ●応募作品…市内で撮影された風景、まつり、行事 などのデジタル写真データ
- ●応募方法…タイトル、撮影場所、撮影日、住所、氏名、電話番号 を明記の上、議会事務局までメールまたは持参等 してください。
- ●メールアドレス… kuro-qikai@city.kuroishi.aomori.jp
- ●注意事項…肖像権、著作権を侵害しないよう撮影者自身で被写 体の承諾等を得てください。詳細はホームページ または議会事務局へお問い合わせください。

日次	
第4回定例会議案審議 など	2~4
一般質問	4~7
議会のインターネット 中継の配信についてなど	8

第4回定例会議案審議

主なものを紹介します。議決された議案等の中から

○令和2年第4回定例会

会期15日間

11月30日~12月14日

議 案 市 全 長 一 30 件 提 出 の 議 中 案 等 か 及び 5 主 な 議 ŧ 員 提 の を 出

お知らせします。

ては、4頁に記載しています。なお、各議員の賛否状況につい

啜会のホームページでも御覧にまた、議案等の一覧は、黒石市

なれます。 議会のホームページでも

令和2年度補正予算についての

〇一般会計補正予算(第11号)

万4千円としました。加し、予算の総額を222億8295歳入歳出とも8億7025万円を追

を減 学 校 学旅行キャンセル 料費271万円を増額したほか、「修 どを増 黒 万7千円を追加 立図書館建設等工事費」7億5453 石 歳 額しまし の光熱水費299万6千円及び燃 応援基金積立金」 出 額し の主な ました。 た ものは、 Ļ 料 教育費では、 「誇れるふるさと 総務費では、「市 8 683万2千円 0 00万円な 各小

石応 Ų は、 を増 助金」3 歳 額 援 入 の 寄 都 しま 基 附 市構 金 寄 金 億フ5フ0万円など 主なもの では、 造 た 附 再 金 編集 は、 誇れる 8 中支 0 玉 0 庫 援 ιζι 0万円など 支 出 るさと黒 事 を <u>,</u> 業 増 費 金 額 補 で

条例制定について

〇黒石市起業移住支援基金条例制定に

め 経費に充てるための基 へ移住しようとする者の支援に 提案され、 黒石市に お 可決しました。 いて起業 Ų 金を設 又 は 置 要 黒 す つする る 石 た 市

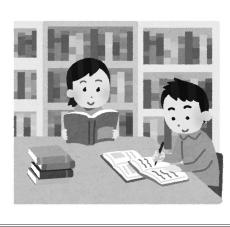
0 い 黒 て 石 市 企 業立 地 促 進 条 例 制 定 に つ

業の立地 要な優遇 決しました 機 会 黒石 の 拡 市に企業を立 を促進 大を 措置を講ずることに 义 る Ų ため 地 産業の振 に提案され、 する者に 無と 雇 により、 対し 企 必 可 用



改 0 正 黒 す 石 る 市 条 义 例 書 館 制 定 建 に 設 基 つ 金条 い て 例 の 部 を

さ の れ 読 义 書 書 環 館 可 決 境 の の 環 ま 充 境 \cup 実に 整 た 備 資 を す 図ることで市 る た めに 提 案 民



0 部 黒 を 石 改 市 正す 児 童 る 館 条 例 児 制 童 定 セ に ンタ っ い Ī 条例 て の

ح 等に 黒 石 伴 市 <u>寸</u> い 提 上 $\overline{+}$ 案され Ш 児 童 可 館 決 を U 廃 ま 止 するこ U た。

条 0 例 黒 制 石 市 定 に 落 合共同 つ い て 浴 場 条 例 を 廃 止 す

る ために 黒 石 市 提案さ 落 合 共 れ 同 浴 場 可 決 を U 民 ま 間 した。 に 譲 渡 す

議員提出議案について

〇 西 設 を 求 \mp 和田 め る 意見書 トンネ ル の 提 (仮 出 に 称) っ の い 早 て 期 建

役 割 平 圏 れ、 な る + 役 災 和 玉 割 害 を 道 域 玉 \blacksquare 担う路 際 ŧ 時 ^ 1 湖 の 兼 の 的 0 経 2 号 ね 観 避 観 由 線 光地で 難 光 備 の ば、 え 路 で ル 大 7 として 1 あ 動 り、 津 軽 ある 十 い トとし 脈 ま ح ا す。 ع ŧ Ш て、 南 非 間 和 て 常 部 \blacksquare 部 重 供 を に に 用 結 重 お 要 八 幡 要 け な さ ιζï

実 ン 物 年 地 帯 な ネ 流 11 L 願 ات に 月 ル か 不 か いとなっ 整 位 U 5 な 備 便 置 4 が は を U てお 5 来 か 周 7 辺 U 月 こ い 自 ていることから、 り、 余 ます。 治 の Ŋ 路 体及び 冬 部 線 期 は の 閉 住 区 特 鎖 民 間 別 さ 豪雪 の は れ **|** 切 毎

見書 \blacksquare 仮 県 黒 称) 知 を 石 事 原案のとおり可決 市議 の に対し 早 会 期 は、 意見書を提出しまし 建 設 西 を強く +和 Ų \blacksquare 要 望 1 青森 ン する ネ 秋 意 ル

> 公的 提 0 出 加 に 補 齢 つ 助 性 制 難 い 聴 て 度 者 の 創 の 設 補 聴 を 求 器 購 め る 入 意 に 対 見 書 す る の

な 健 が とさず、 普 で 及 が 康 加 で、 る と き、 齢 寿 命 性 考 鬱 心身と の 高 難 聴者 え 齢 延 や · 認 伸、 ま に ŧ 知 な す ^ の 医 症 健 つ て 療 の ゃ 補 予 か も 聴 費 生活 防、 器 に の 過ごすこと 抑 の さら の 制 \mathcal{O} い 質 に ŧ て を な は 落 つ る

器 総理大臣に対し お る Ŋ よう強く要 購 黒 可 入 石 決 に 市 Ų 対 議 会は、 する公 望 衆 • 意見書を提出し する 参 的 加 齢 意 議 補 院 見 助 性 議 書 制 難 聴 長 度 を 及び 原 を 者 まし 案 創 の 内 の 補 設 閣 لح す 聴





市政を問う

議案等に対する各議員の賛否状況

○は賛成、●は反対、※は議長のため採決に加わっていま せん。

賛否が分かれた議案等のみを掲載しています。

議案	等	名	採決結果	工藤和子	黒石ナナ子	三上 廣大	大平 陽子	工藤禎子	大久保朝泰	大溝 雅昭	佐々木 隆	今 大介	工藤和行	工藤 俊広	北山一衛	中田博文	後藤 秀憲	村上啓二	村上 隆昭
加齢性難聴者の補聴 器購入に対する公的 補助制度の創設を求 める意見書		可決	*	•	0	0	0	•	•	0	0	0	•	•	•	0	0	0	

コードを読み取っ トフォンで下記Q



では、会議録のでは、会議録のでは、会議録していま ねごしのつた ア き一第 2般4 旨 を項質回 質目問定 て 御 質 程の例 問 問 度中会 、 議 ま こ 向の内部議会 のかに 員 内 員 す 質らお な をホ 。が 容行! 12 問 (1 はつム 直内 及1て PTM 接容らび議行 お等作答員わ ° D お りジ 尋で成弁にれ

10 が市政



答

る見票票 ら場前 選直区区ま見不 しのやた直足駐公 にな統投 、しが車民 合票有を問場館 や所権進 題内や せ令再同者めとで柵 てな事ノ 進和編士が 4にの減いっ故木 て年よ距少いにる離し まて すいあ館 き実全がて りで る ま施体近い さ的いる と駐 。れな投投 か車以 問

備環

7

考

のめ

との

整

つし票

にと投 いて率て、向 向 当投上 市票の の所た え見の 直取 黒石市民倶楽部 し組

廣大 議員

一問一答方式



答

うカカ

 \vdash

年 度額び

5

7

かは

の職

総及

。般

ま職

`の

問

学

生

0

問

て今

後

の

イ

/\"

ウ

10

対

応

12

めた員

は給給 ど与与

かッ

て止確シに業3はカ%2般はたにぶたも与じ 、年職 いの保ョ対、千30ッ 、中一り結含力た平 早等ン応社円%ト課度で特で般に果め 期ののし会で給で長で約別 `職黒 大ト、10 実観維な保す与総級は13職昨の字平幅 現点持が障 、億で年給に成な平成度 をか・ら関今 一3約度与回20給成11決 般千1まカ復年与16年算 目ら向も係 後 での 部 形 の 円 5のト し度カ年かで 指は上職事 予 総万 、決ッから赤 給や員業 定額円長課で千削率そ算トら特字の1、級長す万減をのにをは別財 与人のな カ的モどの 1 ツ資チ各大千特5補 。円累緩後て実一職政 ト源べ施型9別%佐令、計和徐10施般のに え廃の | 策事万職の2和一額し々年し職給転



和行 藤 黒石自民クラブ

一問一答方式

学 す動 るが就 区部 子 تلے 方な学 外活 向いす 就動 **‡**) で場べ 学 を 矢 準合き に理 療 備は学 つ 費 由 `校 を の い 進来に 7 助 め年希 成 た て度望 1 中 いかす つ

まらる

す許部

リデラ今

リ年

〕期

ンオ

]

可活

答

答



黒石自民クラブ

一括方式

感 染市 予庁 防舎 対の 策新 に型 \Box い ナ ゥ イ ル ス

問

答

ま的

すに安

。引定

き的

上な

げ財

て源

い確

く保

方に

向努

でめ

討 段

し階

検

問

い

7

すでスとトメト ī

染て

後

座

ツ 1

症いプアア

収まををか

東す来招ら実

に新秋す行を

は型以る工延

即口にAジし

J

ナ行しェた

コ降

努にウうフ

め攻イ計ァト

ま勢ル画ムやス

。年聘旅施

き感

る

う

体

制

づ

く

り

答

玄

等

を

答

を拡実 ンロ 検大施サ等カ庁 討がは 1 の ウ 舎 明 マ設ン ら今ル置夕関 ま か後力を一 に X しにに な市ラては消 つ内等いビ毒 たににまニ液 時およすし 。ル置 点いる て検 で カき 対感温 1 応染の テ窓

ス カメ ツロ トン \mathcal{O} ブ黄 ラ 美 ン 香 ンンド化につく香」、シャン 化 イ

問

化時がし遊 に発あま休津 寄 信 りし農軽 、た地伝 与して、農産に、農産産 いと物辺産芸 き でとに果館 ま農観優樹南 観光れの側 連のた圃に 魅観場隣 携 の力光を接 活を施整す 性同設備る

そ の 他 イ ****" \emptyset ント 質 問 や 祭 りの今後に つ Ú 7

新自民・公明クラブ

一括方式

市政を問う

問

雅昭議員 新自民・公明クラブ

一問一答方式

ル実り `\ I⊟ は味 を市大 带民黒 びサデ 1 19 7 きビー たスト 施の 0 ス設解 ケ建体 ジ設が ユが始 |現ま

問

とス

経に観

営よ光

状る施

況 影 設

〜 響 の

上っ型

に新

いコ

てロ

。ナ

入ウ

込ィ

数ル

問

六

郷

小

· 学

校

爆

発

事

、 故 に

つ

7

売

及 び

支

援

は

答

令の準

和整備令

3 理 手 和

年が続2

1 行き年

月わが12

れ行月

てわ4

いれ日

`に

争第 ず 第 第 12

と回証弁

拠論

28 日

の予定で

ま

次

は

度か定令 中らを和基 の 5 行 2 本 オ年う年構 一度予度想 プま定末・ ンででま基 をのすで本 。に計 目 2 指か建設画 し年設計を までは業者で、4者中 4者定 す 。 5 年の 後 年度選

答

答

割工 4

減芸り

一 込 年

・は入比

5 割約伝

館 6

•

減のし売の月

こ交及

7

~、湯館上入前

ン 2 ト月 にの つ食 いとて伝 統 芸 能 1 ょ る イ

策温定交策減 売割減 9 承

4

一本心施、。み流約以数度 捉に援策休支 # 館 6 下 えよ事のかっ

協感乙

す促帰石金症6減約8は

答

ま客日黒力染約割売約

。進り限の対割 ...

約減

も泉マ付用

な応付・の

支援宿県配割

援事泊の付減

えよ事紹館援

てる

重入ッ。物 売 7

要浴コ国品約割松け

問

をしア 0 販まウセ県 売し トッ内 した方トの 式限感 2 月1で定染 11月引の状 日 中き市況 に 旬渡特を 引 かす産考 き らこ品慮 渡 チとに をし し テ ま ッ変イ8 す ト更ク 0

答

答

· 0

Sル市他

Tに立の

度ルEつ図質

の構Aい書問

育

G

Τ

G

Α

7

館

建

設

0

ス

ケ

ジ

ユ

今ク

年丨

成想M

人に教

つ 式

7 つ

にい

し

水 道 料 金 改 定 \emptyset 所 見 は

問

す込のの用 がみで契料広 。差約金域 世使額基の水 帯用は本値道 約量約水上企 1 等7量げ業 割 に千がを団 下 よ万約しは げ つ円6ま基 る ての割す本 方 変減にが料 わ額減黒金 りのっ石や 。ま見た市使

りシワ速な

ク

進 線

にの

繋 普

ワ

げ及を

よ備目

、地

1りし内

一レ高区

な治推回

彐

を新ン

方 議

すの

る加

環入

。づよ

す境にケテ



博文 議員 中田 新自民・公明クラブ

一問一答方式

ワ 企 ク 業 な \emptyset \mathcal{O}

推

進

つ

し ٧,

7

状

及

テ

 \cup

に況

問

ペをかけ上ど促 | ネど今 | 依らる程企進企 ッへ年ジ頼 工 し業助業 行た自のトの度にし不業で立成誘 、動団い地金致 光か掲 フら載空産地ま促や活 ア沖しき会は す進固動 イ揚て物社完 °条定推 バ平い件な売ま例資進 まをどした案産の 、に整厚す市へて を税た の情い当本のめ ホ報る市議減 一提こに会免雇 ム供とおにな用

大久保朝泰 新自民・公明クラブ

一問一答方式

新自民・公明クラブ

北山

一問一答方式

問 予 算 新 へ型 のコ 影 🗆 響 ナ にゥ つ 1 い ル ス 0新 年 度

問

フ

やをる残

き医テあ

機

関

を

答

す結シ数①

ベぶスがイ

療ムる

づ医ル

く療工

り機

弘を関ザ

前②をワ

市委紹ク

に託介チ

も契でン

増約きの

問

答

行し 厳が費での いた新し必にも大歳 見年 < 要加公幅入 直度なにえ共な面 す る 施減で し予 な り経設額は、済のが市 で算こ 経はと 全が財回建見税 費 て見政復設込及 0) 節の込状に まび 減事ま況要解れ地 合業れはす体 方 さる等歳交 理のま 化徹すら費の出付 。に用経面税 を底

答

よ御療種 う指機を① に摘関希市 検もを望民 討含おしか め知てら てらい問 て い市せるい き民し方合 まがてにわ 受いはせ す けま可が やす 能あ 。なり す い② 医接

問

個 人子 ات کا 協も 力食 堂 U 7 を い開 < 設 する 寸 体 や

答

支 し 援 、子 子ど できること どものどもの 堂 とは協力してほか、居場所づくりと、 きし収 まて集

問

進

つ

答

を行

る

見

下っ図

回て書

込実市

入質公債費:

比

率

は 設

18

%

も館

複

合

施

設

0)

建

を

答

問

今

後

 \mathcal{O}

財

政

運

営

 \mathcal{O}

見

通

1

つ

問

い

そ · · •

答

そ

 \mathcal{O}

市市他

内民の

の文質

道化問

路会

整館

備に

につ

つい

いて

7

- 染対策につ い
- い少新他 て人型の 数コ質 (30 ナ (30 大 感 学 級 の 実現 につ



禎子 議員 日本共産党

一問一答方式

俊広 議員

新自民・公明クラブ

一問一答方式

工藤

を場か に行 つ政 に 診けり い手 続 内 がけ き するなどの 検診医 のデジタ 査療に で 対応 ル 化 療きし で す機な の 。関いか 推

制 患合りか に新 者はつか つ型 いコてロ 案療医う ナ ゥ 1 電 ル き検話る査相 ス の 医で談 検 査 体

しとすけ 進 。各マ て共 にぜ い同オ種イ まのンサナ い力 す申ラポン 1 1 請 ーバ ボ サントー イ申体カ シ ト請制し テ のはをド 1 利県充の 宣 用内実普 言 を市さ及 0検町せに 討村ま向 推

いたネれ 検 7 。再ま 討 はゼエで を 国ロネ環 県カな境 7 いのーど基 動ボに本 き ま向ン取計 をシり画 注テ組の 視ィん策 し宣で定 な言きや

がにま省

5

つしエこ

9

議会のインターネット中継の配信について

黒石市議会では、昨年の第4回定例会 から本会議のライブ中継をインター ネット動画配信サービス (YouTube) で 配信しました。今後は録画中継についても 配信する予定です。

詳細については黒石市議会のホーム ページに掲載していきますのでぜひ御覧 ください。



議会改革推進特別委員会で研修会を開催しました



議会改革推進特別委員会では、令和2年 12月16日に、議会におけるタブレット端末 活用について検証するため、デモンスト レーション(研修会)を開催しました。

当日は、コロナ禍の状況を踏まえてWeb 会議形式で行いましたが、積極的な意見が 交わされ、今後も活用する効果、必要性 などを検証することとしました。

第31号でもお知らせしましたとおり、 黒石市議会で は、昨年の第4回定例会からインターネット中継による 本会議の配信が開始されました。

この取組とともに、当特別委員会においてもこれま で以上に見やすく、わかりやすい議会だよりの発行を目 指すことで、開かれた議会づくり推進の一翼を担ってい きたいと思います。 (三上 廣大)

委 員 長 今 大介 三上 廣大 副委員長 員 大平 陽子 黒石ナナ子

> 大溝 雅昭

工藤 禎子